

1 小 学 校

小学校：人形劇による「性について」の実践

対象学年（6学年） 教科・領域（特別活動） 所要時間（70分）

計 画

1. 目的
 - (1) 思春期を迎える子どもたちが、講師の語りや人形劇から、自他の命を大切にする心、明るく生きる心の大切さを学ぶ。
 - (2) エイズの正しい知識を学び、偏見や差別をなくしていこうとする心情を育てる。

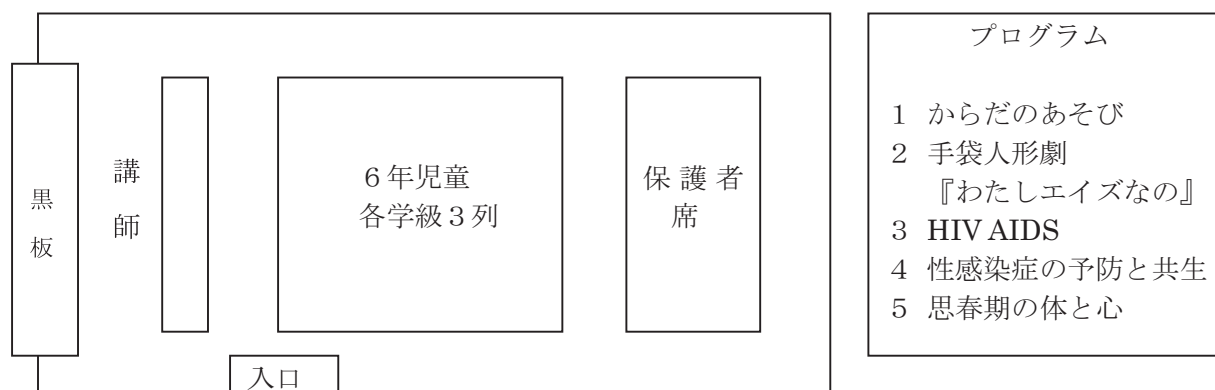
2. 日時・講師・内容

- (1) 日 時 平成 25 年 1 月 31 日（金） 13：55～15：30（5・6校時）
- (2) 講 師 劇団〇〇座 〇〇〇〇さん
- (3) 演 題 「性について」

3. 当日の日程

- ・講師来校 準備へ 12：30
- ・保護者・児童入場 13：30～
- ・公演・質問等 13：35～15：45（児童下校 16：00）
- ・保護者へのお話 15：45～16：10

4. 会場：視聴覚室



5. 準備等

(1) 事前

①事前指導

- ・事前に、講師が作成したアンケートを児童と保護者にとり、担任が集めて講師に届ける。
- ・子どもたちには、ビデオ教材等でエイズについての事前学習をしておく。
- ・保護者にも参加を呼びかけ、例年、ほとんどの保護者が受講する。

②準備品

- ・移動黒板3台 ・プロジェクター ・スクリーン ・暗幕（2m×1mを4枚） ・脚立（2台）
- ・ガムテープ ・図工室椅子4脚 ・画鋏 ・延長コード ・鉛筆（アンケート用） ・ゴザ4枚
- ・加湿器

(2) 事後

- ・公演後、児童の感想を送付する。その後、講師からは、返礼の手紙とともに当日の公演の様子をまとめたカラー刷りのリーフレットを届けていただいております、学校で壁新聞として掲示して事後指導等に活かしています。

講師と事前打ち合わせする際のポイント

- ・開催にあたっての段取りは講師と直接電話連絡をとって行う。
- ・配慮しなければならない児童の家庭事情などがあれば、事前に養護教諭から講師に伝える。
- ・4年生の時に体育科保健領域で学習した思春期の心と体やエイズについての内容を復習しておく。
- ・事前に、命の大切さについて道徳の時間で扱い子ども達の心を耕しておきたい。
- ・人権旬間に合わせて、講師の話を意識した人権・命・男女の協力等の学習に取り組んでおくと効果的である。

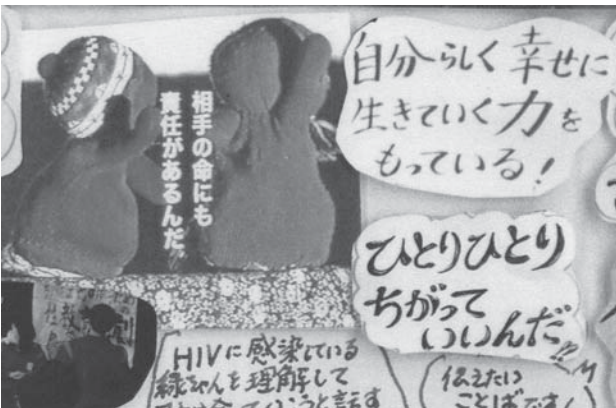
講師依頼先及び予算（講師謝金）

- ・依頼先 劇団〇〇座
- ・講師謝金 諸経費・交通費相当額

授業の概要

時間	内容
1分	① 講師紹介
10分	② 【からだのあそび】理論的な話の前に心身をリラックスさせ、はずかしさを乗り越えて楽しい雰囲気ですべてを学ぶ。手話を交えて自分の体を触ったり、相手の体に触れるルールを考えたりして、体一つ一つの役割を知る。 ※肩もみしながらコミュニケーション・いい子いい子いい子（頭をなでなで）等
20分	③ 【手袋人形劇：「わたしエイズなの」】エイズの正しい知識（水・空気・熱・消毒に弱い、皮膚からは感染しない、性的接触で感染する、性感染症の一つで母子感染もある等）、自分と相手と赤ん坊の命を守るために正しく知っておく事、差別をなくし自分も守る力にする事 HIV・AIDSを知って共に生きるメッセージキルトの紹介 等
20分	④ 【生まれるということ】みんな赤ん坊だった、性=人権=命=平和へのつながり、命がけの誕生・出産、「子宮は地球」、たった一度の人生を精一杯生きる事 等
20分	⑤ 【思春期の心と体】月経・射精・受精への理解・命への責任がある事（手作りの人形や紙芝居による）、一生続く命の学習、自分を学びつづける事、メディア・情報を読みぬき命を考える事、大切にすること 等
5分	⑥ 感想発表・お礼の言葉
15分	⑦ 【保護者へのお話】親が共に学ぶ事で、はずかしさをこえて家庭で語り合えるきっかけとなる。（成長差はあるが）中学生になる前に知ることの大切さ。

授業の様子



講師からいただいたリーフレット（壁新聞）より

児童の感想

- ・今日のお話は、どれもおもしろくて、印象に残っています。人形劇を通して、エイズのことを学んだり、真っすぐな言葉で「性」について分かりました。お話ししてくださって、ありがとうございました。これからも続けてほしいと思います。
- ・ぼくは、HIVのことを、最初は知っているつもりだったんですが、お話を聞いて、改めて、どんな病気か、どんな差別を受けてきたか、どんなにつらいかなど、考えきれないなと思いました。人形劇で、ほとんどの疑問がなくなりました。これからも、HIVにかんせんしている人がいたら、ふつうに接していきたいです。今日は本当にありがとうございました。
- ・私は、HIV（エイズ）の病気について、最初、こわい病気だと思っていました。でも、事前学習の時に、こわい病気だけど、人には簡単にうつらないことや、みんなといっしょに遊んだり勉強したりできることを知りました。それに今日この公演を見て、差別のことなど、大切なことをいっぱい知りました。他にも大切なことがいっぱいあったけど、やっぱり人形劇が印象に残りました。今日はこの公演を見れてよかったです。
- ・最初は、話している時、はずかしくはないのかなとか、いろいろ思っていました。はずかしさをのりこえて話をしているとっていて、すごいと思いました。エイズのこと知らないこともあったので、とても勉強になりました。これからも正しい知識を得て、大人に近づいていけるといいと思いました。ありがとうございました。

講師からのアンケート用紙 (子ども用とおとな用)

小学生(6年生)アンケート

アンケート書いてくださいね! (今年のお話の中で) みんなの質問にわかりやすく教えてくれるでしょう。

このアンケートは(1月 日)にみなさんとお話をします。お話しものですよ。

名前はおかかなくてもいいですが、どんなところでもたくさん書いてくださいね。

性別(男・女) 年令(才)

① 学校で HIV = エイズウイルス / AIDS という病気の話を勉強しましたか?

② 勉強してみて... どんなことを覚えましたか?

③ もしあなたの学校、同じクラスに HIV に感染しているお友達がいいたらいっしょに仲間として勉強したり遊んだりする事ができますか?

④ 先生や家族や友達と、身体のこと、病気のこと、性のことなど勉強したり話し合ったりしていますか?

⑤ 今度、人物劇や紙芝居やメモリアル、キルトをしてお話に来る機会があるから、知っていることや、知りたいことがあったら、どんなところでも書いてみてください。

ありがとうございます。みんなにあなたの話をしたいと思っています。

6年生 PTA 教師用

このアンケートは全国のいろいろな場所の... HIV/AIDS に対する意識や... 協力をお願いします。

① HIV = エイズウイルス / AIDS について、感じていることを書いて下さい。

② HIV 感染症、AIDS を身近な病気と思いませんか?

③ 現在、世界中でお日本は、STD (性感染症-性行為によって感染する病気) が若い人達(10代~30代)に増加していて HIV 感染症や AIDS も増加していること、知っていますか?

④ 先生、教師、大人たちからきいた、病気の原因、病気をかかっている人の立場、また人権侵害が、学校や生活の中で、学童教育の中で行われていると思いませんか?

⑤ 世の中には、どこにもあついている情報やマスコミ(テレビ、新聞、雑誌など)から流れてきます。そこから身を守る性教育(生命を守り守る教育とは)が、適切な時期、適切な方法で、親や先生や社会が協力して提供していかないと、思いませんか?

※ 性差別や人権差別、生命の尊厳を大切にすることを大切にしてください。



公演でご紹介いただいた本



講師からの返礼のお手紙

小学校：助産師による「命の教育」の実践

対象学年（4 学年） 教科・領域（学級活動） 所要時間（45 分）

計 画

1. 目的

出産の劇を見たり助産師の方の話を聞いたりして、人々の新しい命の誕生を待ち望む気持ちや喜びを知り、命の大切さを実感したり命を次の世代につなぐ大切さに気づいたりする。

2. 日時・講師・内容

(1) 日 時：平成 26 年 1 月 17 日（金）13：45～14：30（全校参観日：5 校時）

(2) 場 所：会議室

(3) 講 師：助産師 ○○○○さん

(4) 演 題：「大切な命」

3. 当日の日程

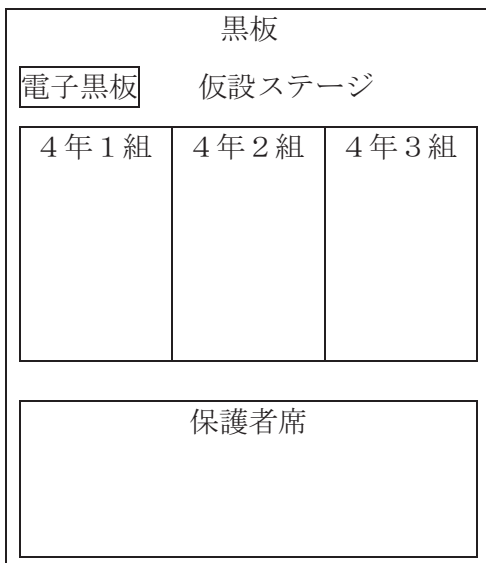
1:20 会議室のセッティング，準備

1:40 児童入場

1:45 授業

2:25 児童代表お礼の言葉（感想発表）

4. 会場：会議室



プログラム	
1	始めの言葉
2	講師紹介
3	講義 1 寸劇 講義 2
4	質問
5	お礼の言葉（感想発表）
6	終わりの言葉

5. 準備等

(1) 事前

①事前指導

②準備品

・マイク 2 本 ・プロジェクター ・学習カード ・講師用机 ・いす

(2) 事後

・感想を聞く

・学年通信で様子を紹介する

講師と事前打ち合わせする際のポイント

- ・講師に4年生の児童の実態と今までの学習内容等を伝え、理解してもらう。
- ・助産師の経験に基づいた思い、家族や周囲の人、助産師の命に対する思いを多く伝えていただくようお願いする。
- ・講師と相談しながらワークシートを作成する。(話のポイント、授業後の感想・質問を記入)
- ・家族や周囲の人たちが力を合わせがんばったおかげで生まれてきたこと、自分の命の誕生をたくさんの人たちが祝福してくれたこと、友だちも同じように大切な命を持って生まれてきたことが伝わるような指導方法を考え合う。
(例) 助産師さん所有の産声テープ(産まれたときの肉声)やお腹の中の胎児のビデオ・スライド
- ・寸劇のシナリオにより担任は事前に練習をしておく。

講師依頼先及び予算(講師謝金)

- ・依頼先: 助産師 ○○○○さん
- ・予算: 無料

授業の概要

時間	内 容
10分	「命の誕生」のお話 ・産声テープを聞く ① 「生まれたての赤ちゃんの時、どんなことができていましたか？」 泣く・寝る・おっぱいを吸う・おしっこやうんちをする ② 「今までにどんなことができるようになりましたか？」 たくさんしたこと(サッカー・勉強・運動・話・食べる・服を着たり脱いだり・・・)
15分	「出産まで」のお話 ③ 「いろいろができるようになるまでにたくさんの人との関わりや教えてもらったことがあります。では、初めてこの世に誕生するときはどうだったでしょう？」 ・卵子(赤ちゃんのもと)・精子(お父さんがもっている)を提示。 ・今までの学習を復習。 ・ビデオ視聴 ④ 「出産時のお母さんの表情をスライドで見てください」 ・産室に入るときの不安と期待の表情 ・出産するときの厳しい表情 ・出産した後の笑顔・喜び涙流して我が子を見る表情 ⑤ 「お母さんの出産したときの気持ちはどうだったでしょう。」 ⑥ 「その場にいた人はどんな気持ちだったでしょう。」
5分	寸劇「出産」 ・妊婦さん、お母さん、夫、助産師役に分かれて寸劇
5分	「赤ちゃん 誕生」のお話 ⑦ 「関わってくれた人の気持ちを発表しましょう」 ・お母さんの感想(インタビュー)を聞く。(映像2～3人のお母さん)・
10分	まとめ ・学習カードに記入 ・感想発表 ・お礼の言葉

授業の様子



参観日

前方に児童・後方に保護者。模造紙での掲示や音声、VTR等の視覚教材も使い、子どもたちにもわかりやすく授業を進めてくださる。助産師さんと担任による寸劇も今回初めての試み。保護者・子どもたちに好評であった。(場所：会議室)



講演会

地域の方を講師に講義をしていただく。

演題「大切な命」

助産師 ○○○○先生を講師に1年生から6年生までの縦割り「〇っ子グループ」でお話をお聞きする。(場所：音楽室)

児童の感想 (4年生：授業を終えて)

(児童から)

- ・赤ちゃんを出産する時って、大変なんだなあ。お母さんもこんな風にしてぼくを産んでくれたんだなあ。ありがとうお母さん。と言う気持ちになった。
- ・命って、こんな風にして誕生するんだと驚いた。私の命。みんなに見守られて誕生したんだ。大切にしたい。
- ・赤ちゃんはお母さんのおなかの中でこんな風に成長し、誕生する。私もそうだったんだな。お母さんのおなかの中で大切に育てられたんだ。
- ・先生たちの劇を見て、お母さんもこんな風に産んでくれたのかなと感じた。
- ・赤ちゃんが生まれた時の声を聞いてこんな泣き声だったのかと思いました。今はきれいな声で歌も歌えます。今まで成長させてくれたことに感謝したいです。
- ・出産するときのお母さんのスライドを見てこんなに大変なことをして産まれてきたということがわかりました。自分の体を大切にしたいです。
- ・いろいろな方のインタビューを聞いて自分たちが産まれたことをみんな喜んでくれていたことがわかり感謝したいです。
- ・最後に話してくれた一人ひとりのお母さんの「におい」の話を聞いて私もそんな「におい」を子どもに伝えられたらと思いました。

(参観した保護者から)

- ・子どもだけでなく親にとっても参考になった。
- ・子どもと共に勉強でき、こんな風に伝えていくことが必要なんだとわかった。

資料等

【出産劇シナリオ<部分>】

(出演) 助：助産師 妊：妊婦 母：実母 夫

(妊婦，夫に電話)

妊：もしもし，〇〇さん？

夫：おお，まことか，どうした？

妊：陣痛が始まって今から助産院に入院するんだけど，〇〇さんも今から助産院に来られるかしら？仕事は大丈夫？

夫：そうか，生まれそうなんだね。わかった。仕事の都合をつけてすぐに行くよ。

妊：本当，よかった。気をつけてきてね。

夫：ああ，わかったよ。頑張れよ。

(電話を切る)

妊：〇〇さんも助産院にすぐ来てくれるって。

母：そう，よかった。じゃあ，いそいで助産院に行きましょう。

(妊婦，母，荷物を持って助産院へ)

妊：先生，お願いします。

助：はい，よろしくお願いします。痛みはどうかしら？

妊：だいぶ痛みが強くなってきました。

助：そうですか。それじゃあ，診察してみますね。

おかあさまは，そちらでお待ちください。

(診察)

助：子宮の口元が8cmくらい開いていますね。もう少しですね。

ゆっくり深呼吸しててくださいね。

妊：はい，わかりました。フーフー・・・・・・・・。

また，痛くなってきました。

助：はい，じゃあ，ゆっくり2回深呼吸。

吸って，はいて，吸って，はいて，3回目大きく吸っていきみましょう。

息をはきながら，そう上手です。

*陣痛2～3回目を乗り切る。

母も一緒に付き添う。夫も到着。

夫：まこと，大丈夫か？もう少しだ，頑張れ！

間に合ってよかったよ。

母：〇〇さんも来たから最後の力振り絞って頑張る。

助：赤ちゃんの頭が見えてきましたよ。次の陣痛で生まれそうですよ。頑張らしましょう。

妊：痛くなってきました・・・。

助：はい，深呼吸して，いきんで！そう上手ですよ。

頭出てきましたよ。はい，楽にして。ハーハーしてくださいね。

はい，おめでとう！

(赤ちゃん誕生) 赤ちゃんを母が胸に抱く。

妊：ああ，よかった。うまれた・・・。

夫：おお，よく頑張った，元気に産まれてよかった。

母：まことによく似てかわいいね～！

助：おめでとうございます。よかったですね。

では，お父さんにお臍を切ってもらいましょう。(夫：はさみで臍切断)

助：今度は赤ちゃんに栄養をあげていた胎盤が出ますからね。

そのまま楽にしてハーハーしてくださいね。

妊：ハーハー，ハーハー・・・

助：はい，胎盤出ました。ご苦労様でした。

小学校：公益法人による「命の教育」の実践

対象学年（全学年） 教科・領域（特別活動） 所要時間（50分）

計 画

1. 目的

子どもたちが自分自身のいのちの力を実感し、自尊感情の向上を目的とした誕生学スクールプログラムを通して、「生まれてから毎日抱かれた歴史の持ち主」として家族や大切にしてくれた周りの人たちとの絆を再確認することができる。

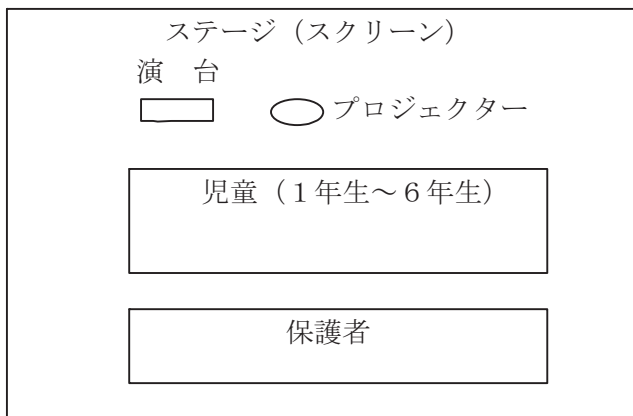
2. 日時・講師・内容

- (1) 日時 11月27日(水) 14:30～15:20(5校時)
- (2) 講師 誕生学協会認定誕生学アドバイザー
○○○○さん
- (3) 演題 「いのちってすごい～お腹の中のドラマと生きる力」

3. 当日の日程

授業参観	13:35～14:20
親子学習会	14:30～15:20
学級懇談会	15:30～16:20

4. 会場



当日の次第（進行 副部長）

講師入場

- ① はじめの言葉（5年部員）
- ② 講師紹介（部長）
- ③ 講演
- ④ 花束贈呈（児童会長）
- ⑤ お礼の言葉（PTA会長）
- ⑥ おわりの言葉（5年部員）

講師退場

5. 準備等

(1) 前日まで

- ・謝礼
- ・演題、演壇
- ・マイク、放送機器
- ・ビデオ機器、カメラ
- ・チラシ作成、配布
- ・感想記入用紙
- ・花束購入

(2) 当日

- ・会場準備（絨毯敷き、演壇、演題、おしぼり）
- ・接待（PTA会長、校長、人権同和教育部長）—お茶準備
- ・ビデオ撮影
- ・写真撮影

講師と事前打ち合わせする際のポイント

- ・誕生学のプログラムに沿っての講演となり、必ず扱わなければならない内容が決められているが、今回は人権同和教育親子学習会ということで、自尊感情のもととなる「自分はお父さん、お母さんに愛されて、望まれて生まれてきた。」「自分は大事にされているんだ。」という点が子どもたちに伝わるように講演の内容を考えてもらう。
- ・1年生から6年生までと保護者という形で行ったため、特に低学年児童が集中できるよう講演のやり方についてお願いした。(時間的なことや具体物・映像の提示など)
- ・講演会の後すぐ行われる学級懇談会にも残っていただき、各学級の話し合いを回りながら、一緒に話し合いに参加していただくことをお願いした。
- ・本校の場合はメールで係職員と講師の方との連絡をし、講演会に向けての打合せをした。そして事前に一度来校していただき、担当のPTA役員とも話し合い細かな部分についてまで打合せを行った。

講師依頼先及び予算(講師謝金)

- ・依頼先：誕生学アドバイザー
○○○○さん
- ・予算：PTA講演会としての予算

授業の概要

時間	内 容
20分	①自分たちがお母さんの中でどのように成長し、産まれてきたのかについて、プロジェクターでその様子を映したり赤ちゃん人形や骨盤を使ったりして説明。 ・赤ちゃんがどう成長するか ・どうやって産まれてきたか「命の道」
10分	②誕生した時に自分が発揮した生命力、命の大切さや家族、周りの人たちの思いについて
10分	③自分たちの体、命を大切にしていくことについて ・プライベートゾーンについて
10分	④まとめ ・「あなた」に対して深い愛情を注いでいる家族が、いつもそばにいてることについて

授業の様子



児童・保護者の感想

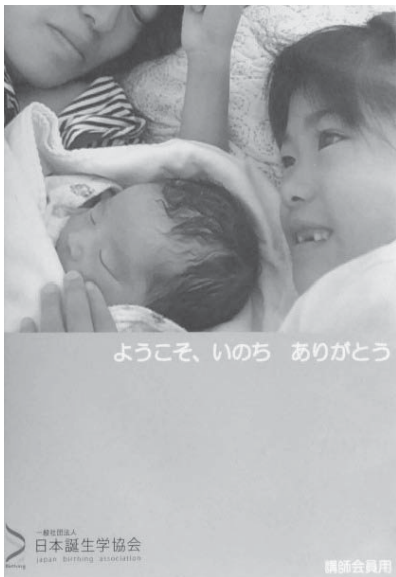
〔児童の感想〕

- ・赤ちゃんがお腹の中でミルクを飲む練習をしたりお母さんの狭い命の道を通るために体をいっぱい動かしてお母さんの元へ行く赤ちゃんがどれだけ大変なことをしているのかがすごくわかって、赤ちゃんやお母さんはとっても大変なんだと思いました。でも、赤ちゃんに会えたら苦しさなんか忘れてうれしさが倍になるんだろうなと思いました。
- ・「いじめられるために生まれてくる命は一つもない。」と先生が言っていました。それはつまり「一人一人の命の重さ」ということを示していると思いました。私は改めて命の尊さを実感しました。ローマでの実験を聞いた時、正直「抱っことか声をかけることをしないで死んじゃうの?」と思いました。誰でも誰かの愛情が必要だとわかりました。なので私は両親やお姉ちゃんに感謝しました。両親、兄弟、友だちなど誰かからの愛が命の原理なんだと思いました。家族や友だちに私が今一番言いたいのは「私のことを大切に育ててくれてありがとう。」です。

〔保護者の感想〕

- ・「赤ちゃんってどこから生まれてくるの?」と質問された時、どうやってわかるように説明したらいいか難しかった。でも、低学年にもわかる内容で説明していただいたので、子どももすんなり受け入れられた様子でした。「抱かれず、話しかけられなければ1歳まで生きられない。」この話が一番衝撃だったそうです。「いっぱい抱っこしてくれてありがとう」とお礼を言われジーンとしてしまいました。忘れかけていた数年前の記憶が甦りました。また、新しい気持ちで子どもと接することができそうです。
- ・親子にとってよい機会をありがとうございました。今度は母親を対象とした、男の子の体の成長の話も聞いてみたいです。
- ・講演会の話の中で、赤ちゃんが生まれた時、自然と起きた拍手に感動した。素晴らしいと思った。

資料等



誕生学協会作成 DVD
「ようこそ、いのちありがとう」

自分の歴史

生まれてすぐに置き去りにされたら？
抱かず、あやさずに育てたら？

死んでしまいます。
すべてのいのちは
毎日抱かれたから今がある！

公益社団法人 誕生学協会



性ってなんだろう？

性

「心が生きる」と書いて「性」
個性の「性」・適性の「性」
「自分らしい生きかた」のこと？！

公益社団法人 誕生学協会

29

あなたのいのちの力

あなたは、すごい 生まれる力を発揮した 生きる力がある

いじめられるために生まれたのではない
いじめるために生まれたのではない
いのちを大切にできる力がある

公益社団法人 誕生学協会

32

生まれてきてくれてありがとう！ 世界でたったひとりの 大切なあなたへ

公益社団法人 誕生学協会

40

小学校：助産師による「命の教育」の実践

対象学年（6 学年）

教科・領域（特別活動）

所要時間（60 分）

計 画

1. 目的

生命誕生の神秘さや尊さを感じ取り、家族の深い愛情に包まれて誕生した自分や友達の命の大切さに気づく。

2. 日時・講師・内容

(1) 日 時：平成 25 年 1 月 23 日（金） 14：00～15：00

(2) 講 師：助産師 ○○○○さん

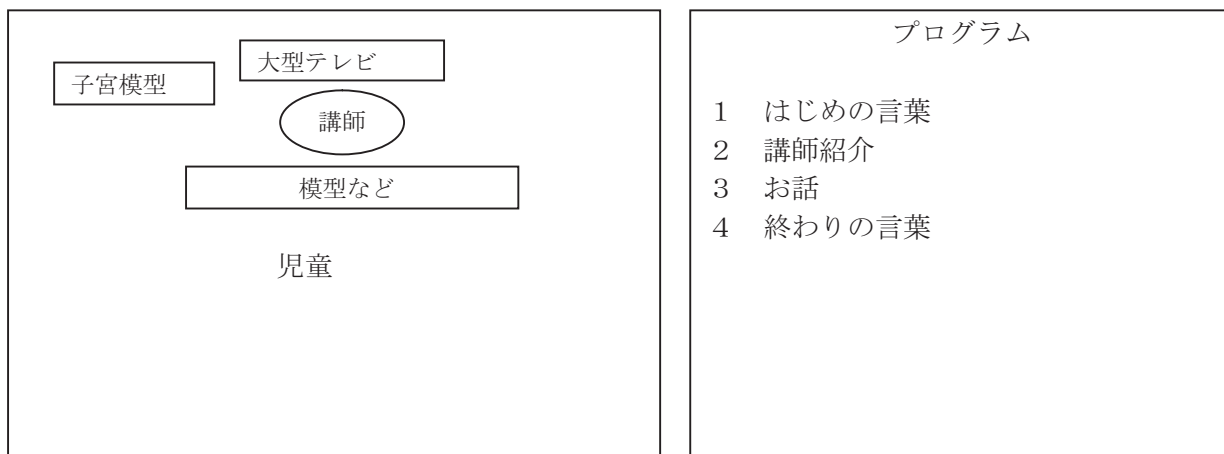
(3) 演 題：「大切なあなたに伝えたい命の話」

3. 当日の日程

入場 13 時 55 分

講話 14 時～15 時

4. 会場：視聴覚室



5. 準備等

(1) 事前

①事前指導

・担任による学級指導

②準備品

・マイク ・大型テレビ ・長机 2 ・移動黒板 ・玄関案内看板など

(2) 事後

・担任による学級指導（感想まとめなど）

講師と事前打ち合わせする際のポイント

- ・数年継続して同じ内容で依頼しているので、昨年までの児童および職員の感想などから実施内容について再検討や共通理解をする。
- ・DVD や模型など使用する視聴覚教材についての確認。

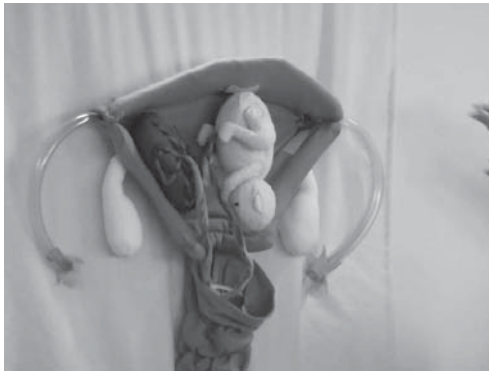
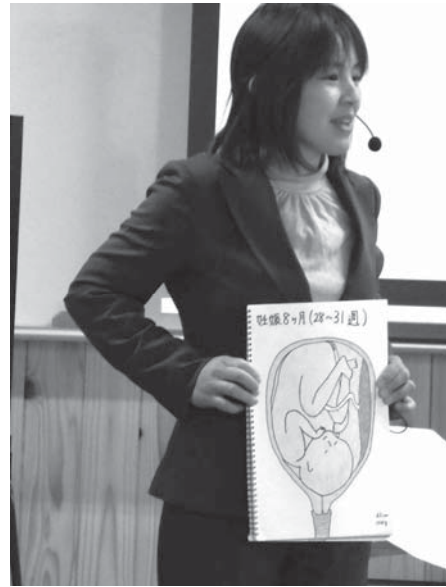
講師依頼先及び予算（講師謝金）

- ・依頼先 助産院へ直接依頼
- ・予算 2万円

授業の概要

時間	内 容
5分	自己紹介，助産師の仕事について
45分	<ul style="list-style-type: none">・いのちのできるなりたち—何億分の1の受精の奇跡・胎児の発育・出産について・私たちが生まれてきた理由・DVD 資料映像
10分	まとめ <ul style="list-style-type: none">・命 — 今，様々な家庭環境におかれている私たちだけれど，生まれる時には愛されて生まれてきた

授業の様子

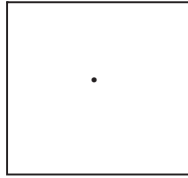


児童の感想

- ・私は助産師さんの話を聞いて、自分が生まれてくるまでに、ものすごい時間とものすごい苦労があったんだなと思いました。一番驚いたのは精子が卵子に入るときの死んでいく数です。初めは3億個もあったのに最後は1個になるなんて、精子も大変だなと思いました。
- ・自分が生まれる確率はとても低くて、違う精子が先に卵子に入ってしまったら自分はいないので、いろんな難関をよく突破して自分は生まれたなとびっくりしました。自分を生んでくれたお母さん感謝したいです。
- ・自分が1277兆5000億分の1の確率で生まれてきたことはすごいし、お母さんが一生懸命生んでくれてうれしいです。赤ちゃんはお母さんに迷惑がかからないように工夫していることは初めて知りました。これからも自分の命を大切にしていきたいです。
- ・お母さんは私を産むためにすごいがんばったんだと思いました。これからどんなにつらいことがあっても、全部しっかり乗り越えようと思いました。お母さんに「ありがとう」と伝えたいです。
- ・人生で一番大変なことは生まれるときと思うと、これからどんなことがあってもがんばれそうな気がします。どんな壁にぶつかっても自分らしく生きたいです。必要とされない人間はいない。自分は誰かに必要とされているか分かりませんが、とにかく自分を大切にしたいと思います。

資料等

児童一人一人に4センチ四方のピンクの画用紙配布(0.2ミリの穴・・・受精卵)



パワーポイント一部抜粋

